

小岱山焼に魅せられて

泗水町で「桜山窯」を開く

ブルックハルド・チャルネツキイさん

日本へ来て感じたことですが、日本人は相手の気持を尊重するあまり、自分の思っていることをそのまま表現することをちゅうちょされることが多いようです。ドイツには、「すべての人はそれぞれ」の道で幸せにならなければならない」というフリードリッヒ大王の個人主義の哲

私の夢は、故郷のドイツで個展を開き、熊本で学んだ陶芸を見せたいという事です。今から七年前のこと、ひとりの日本の女性との出会いから生まれた、一個の湯呑茶碗との対面。大学時代から焼物をやっていた私は、その色をしてつやにすっかり魅了されてしまいました。その女性が妻の洋子であり、湯呑茶碗が荒尾の小岱焼なのです。

妻の実家が熊本市であったこともあり、熊本で本格的に陶芸の勉強をすることにしました。まず、天草の丸尾焼を研修、その後熊本県工業試験場（現在の工業技術センター）で窯業と専門的なデザインを勉強して、昭和五十七年、ついに現在の桜山窯を開窯しました。

学があり、良いと思うものは「良い」と、悪いと思うものは「悪い」と率直に表現する習慣があります。今ではずいぶん慣れましたが、当初、私の作品を悪く言う人がいないのには、やはり戸惑いを感じました。

私の住んでいる泗水町は、実に住みやすいところです。

世界の阿蘇山が眺められる庭、緑豊かな街並み、そして、合志川の清らかな流れ、それらのすべてが私に創作意欲をかきたててくれます。それに、町の人たちと接するとき全く違和感がないということです。とにかく、ここ

泗水町桜山付近では私は近所のチャルネツキイさんなのです。「都会の外人は孤独だ」という話には無縁のようです。私にしてみれば、都会より泗水町の方が国際化が進んでいるようにさえ思えます。

熊本には天草陶石という素晴らしい陶芸の原料があるためか、県内には多くの陶芸家が活躍しています。一月に熊本市内のデパートで地元陶芸家による陶芸展を開催いたしました。しかし、熊



本の陶芸はまだまだ知られていないことを痛感しました。この泗水町にも三人の陶芸家がいるのですが、町の人々でさえあまり知らない人々で、もっと役場や県を中心として泗水の陶芸を、そして熊本の陶芸を、県内外へアピールして欲しいですね。

私も自分の夢を実現しようと、家族みんなで頑張っているところ



県立劇場

●四月二十三日(水) ●コンサートホール(午後六時三十分)

栄光の歴史の中で熟成した 比類なく美しい音楽

ウイン・フィルハーモニー管弦楽団



指揮者は、ロリン・マゼール。これまた、音楽ファンにはこたえられない最高の取り合わせです。今回演奏されるのは、チャイコフスキーの「交響曲第五番短調」ほか、その芳醇な音色、洗練された演奏をじっくりとご鑑賞ください。

●四月二十三日(水) ●コンサートホール(午後六時三十分)

県立美術館

●四月二十三日(水) ●コンサートホール(午後六時三十分)



白い詩情 憂愁のモンマルトル ヌトリロ展

●四月五日(土)～五月五日(祝) ●四月二十三日(水) ●コンサートホール(午後六時三十分)

●四月二十三日(水) ●コンサートホール(午後六時三十分)

アジア現代美術展

●四月二日(水)～十八日(金)

伝統工芸館

●四月二日(水)～六日(日)

ふるさと陶器祭

●四月二日(水)～六日(日)

●四月二日(水)～六日(日)

●四月二日(水)～六日(日)

県立体育館

●四月二日(水)～十八日(金)

●四月二日(水)～十八日(金)

●四月二日(水)～十八日(金)

〔略歴〕
一九四九年 西独ベルリンに生まれる
一九七九年 丸尾焼で研修
一九八一年 熊本県工業試験場窯業科修了
一九八二年 熊本県工業試験場デザイン専攻科修了
一九八二年 桜山窯開窯
第五回日本新工芸展ほか多数入選。